



みなみ 園だより 1がっ

令和6年1月4日
目黒区立南保育園園長

あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスが5類となり、制限が緩み保育園にも日常が戻り、豊かな経験・いろいろな人との関わりの大切さを改めて感じた1年でした。今年も子どもたちが楽しく笑顔溢れる日々を送れるように職員一同保育内容の充実を図っていきたいと思います。

先日、5歳児クラスから担任のギター、楽器で音を鳴らしながら歌う子どもたちの歌声が聞こえてきたので見に行くと、整列している5歳児の前にはいすに座り、きらきらの笑顔で見ている3歳児クラスの子もたちがありました。どうやら、5歳児クラスはクラスで音楽会を企画し、お客様として3歳児クラスを招待したようです。先月、幼児クラスはにこにこ参観日があり、劇や歌、合奏を保護者の方に見ていただき、子どもたちは見てもらうことの喜びを感じることができました。そこから人に見てもらいたい、人を喜ばせたい気持ちが育ち、他クラスとの交流にもつながっています。

今年5歳児クラスは「やってみよう」をクラスのテーマとし、やってみないとわからないからなんでもやってみようよと励ま合いながらたくさんの方に挑戦してきました。挑戦することで得られる様々な感情に保育士も一緒に触れたいと思います。

今月の行事予定

新年子ども会

5歳児クラス 懇談会

3歳児クラス 懇談会

4歳児クラス 懇談会

0歳児健診

身体計測 避難訓練 全クラス



こどものつぶやき

(4歳児クラス)

給食の献立発表の時のことです。

保育士「今日のメニューは

さけの“西京”焼きです」

子ども「さけの中で“最強”の味かな」

『にこにこ参観日当日の様子』 幼児クラス

初めてにこにこ参観日を迎えたでんでんむし組は保護者の方を見つけると、嬉しくて笑顔で手を振っています。劇が始まると友達同士で横を向いている子に「前、向いて」と声をかける姿や役になりきって大股で歩いていると上履きが脱げて飛んで行ってしまうハプニングもありましたが、一人ひとり自分なりに表現することを楽しめていました。

こおろぎ組は、友達にセリフを教える姿や桃太郎が日本一の旗を掲げている時には、人差し指を立て役にあった動きをする姿等友達と表現することを楽しんでいました。

とんぼ組は練習の時にアドバイスをもらったセリフではない「よいしょ、よいしょ」などの小さなつぶやきや動きを表現し、どの子も役になりきっていました。また、セリフはもちろん、楽器などで出す効果音もテンポよく、全員で協力して劇を進めているのがわかるほどでした。劇の後の合奏と歌が終わるとみんなやり切ったという達成感でいっぱい表情をみせていました。

どのクラスも保護者に見てもらっている嬉しさから一番素敵な姿を見せてくれていて、子どもも保護者の方も笑顔溢れるにこにこ参観日となりました。



特集

親しんでいる絵本や読んでいる子どもの姿を紹介します。



1 歳児クラス てんとうむし組

保育士がテーブルの前に絵本を用意すると「えほん、えほん」と言いながら集まってきます。「おつきさま」「ひこうき」等、表紙に描いてある絵を見ながらお気に入りの絵本を手にとり、ページをめくっています。「せんせい、よんで」と絵本をもって来る子に保育士が読んであげると、近くにいた子も集まってきて、静かに見入っています。最近のお気に入りは“ひこうき”という絵本です。ページをめくる度に出てくる色々な形の飛行機を見られて嬉しそうですが、最近はその中に描いてある人を発見し、「パパだ」「これせんせい」等、想像したことを保育士に教えてくれます。保育士が読み終わると、今度は自分で読む真似をする子もいます。絵を見て思い出した言葉を言いながらページをめくり、最後は「おしまい」と言って満足げな表情で絵本を閉じていました。絵本を通して少しずつ言葉を覚えたり、保育士と簡単なやりとりを楽しんでいる子どもたちです。



2 歳児クラス みつばち組

乳児お楽しみ会で観た『おおきなかぶ』の人形劇がとても面白かったようで、「うんとこしょ、どっこいしょ」ブームが起きました。園庭ではタイヤに縄をつけて「うんとこしょ、どっこいしょ」と縄を引っ張ったり、テラスで育てているラディッシュを「うんとこしょ、どっこいしょ」と言いながら収穫したりしています。そして収穫したラディッシュが食事に出ると「うんとこしょしたね」と嬉しそうで、苦手でも一口食べてみる子や完食する子が大勢いました。一つの絵本のお話から遊びや食事へとつながっていきました。これからもたくさんのお話を繰り返し読んだり歌ったりしながら、様々な絵本に親しめるようにしていきます。



幼児クラス こおろぎ組

先日初めて図書館に行きました。一人一冊、気に入った本を借りてきたので図書館から帰ってきて借りた本の紹介をしてもらいました。表紙に恐竜や乗り物など興味のあるものが載っている本を選んだ子や「目が見えにくい人も楽しめる本だよ」と点字の迷路を選んだ子など様々な本の中から選んだことが楽しかったことも伝えました。

自分が借りてきた物語の本を友達を選んで保育士に読んでもらっていると嬉しそうに隣に座り、「これね、お家にある本でね、わたしが選んだの」と、声をかけています。保育士が読み終わると今度は二人で本の中でおもしろかった言葉を一緒に唱えながら笑い合ったり、お互いの好きな部分を紹介し合ったりやりとりしながら楽しんでいました。

これからも図書館に出掛け、たくさんのお本との出会いを楽しみたいです。

